

学校教育調査 B の概要

1 調査目的

「岩手県学校教育調査」は、岩手県の学校教育に関する状況について、さまざまな立場の方の実態を定期的に把握することにより、県内の学校が抱える課題を知るうえでの基礎的な資料を得るために、また、今後の教育振興等に資するための基礎資料を得るために、平成13年度から4年間の長期計画で行っている。学校教育調査 B は、平成14年度に実施した学校教育調査 A の結果を補完するために、児童生徒の学習面に焦点を当てて行った短期調査である。

2 調査協力依頼校

- (1) 調査協力依頼校は、県内12の教育事務所管内に設置されている24の小・中学校、12の県立高等学校とした。
- (2) 小・中学校の調査協力依頼校は、12の教育事務所を単位とし、学校教育調査 A と基本的に市町村が重複しないよう、また学校規模等に配慮して抽出した。高等学校の調査協力依頼校は、学校の特色等による差異が結果に与える影響を小さくするため、調査 A と同一校にした。

3 調査対象

校種	調査対象	対象者数	回答者数
小学校 (12校)	5年生児童(全員)	727	706
	保護者(全員)	727	677
	学級担任(副担任含む全員)	185	164
中学校 (12校)	2年生生徒(全員)	657	642
	保護者(全員)	657	606
	学級担任(副担任含む全員)	134	90
高等学校 (12校)	全日制2年生生徒(1学級)	437	419
	保護者(1学級)	437	412
	学級担任(副担任含む全員)	332	222
合計		4,293	3,938

4 調査内容

学校教育調査 B は児童・生徒の学校や家庭における学習の実態に焦点を当てて実施した。具体的内容は別紙「質問紙調査票」のとおりである。

5 調査方法

- (1) 調査は、小・中学校にあつては、教育事務所、市町村教育委員会を通じて依頼し、県立学校にあつては、直接依頼した。なお、調査結果の回収も同様である。
- (2) 調査対象者数は「平成14年度学校一覧」(岩手県教育委員会)により算出した。
- (3) 回答は、個人に配付した調査票に直接記入してもらうこととした。
- (4) 保護者への調査票の配付及びその回収方法は、各学校に一任した。

6 調査期間

平成15年9月8日(月)から10月3日(金)までの四週間

< 主な参考資料 >

- ・文部科学省、「学校教育に関する意識調査」, 2003
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター, 「平成13年度教育課程実施状況調査(小学校・中学校)」, 2001
- ・ベネッセ教育研究所, 「第3回学習基本調査」, 2002

学校教育調査B調査項目

番号	児童生徒	番号	保護者
子1-1	学校に対する好き嫌い	親1-1	子どもの学校に対する好き嫌い
子1-2	勉強に対する好き嫌い	親1-2	子どもの勉強に対する好き嫌い
子1-3	勉強の価値 1	親1-3	勉強の価値 1
子1-4	勉強の価値 2	親1-4	勉強の価値 2
子1-5	勉強と成績	親1-5	勉強と成績
子1-6	勉強と受験・就職	親1-6	勉強と受験・就職
子1-7	勉強と職業	親1-7	勉強と職業
子1-8	勉強と努力	親1-8	勉強と努力
子1-9	勉強の有用性	親1-9	勉強の有用性
		親3-11	勉強と賞賛 1 (叱る)
子1-10	勉強と賞賛 (父母) 1	親3-12	勉強と賞賛 2 (ほめる)
		親3-1	子どもとの会話 (友だちについて)
子1-11	勉強と賞賛 (先生) 1	親3-2	子どもとの会話 (先生について)
子1-12	よい成績のため勉強	親3-3	子どもとの会話 (成績や勉強について)
子1-13	受験などのため勉強	親3-4	子どもとの会話 (受験や就職試験について)
子1-14	職業のため勉強	親3-5	子どもとの会話 (将来や職業のことについて)
子1-15	分からなくても努力		
子1-16	将来のため勉強		
		親3-6	子どもとの会話 (一日のできごと)
		親3-8	子どもの学校の宿題の手伝い
		親3-9	子どもの夏休みの宿題の手伝い
子1-17	勉強と賞賛 (父母) 2		
子1-18	勉強と賞賛 (先生) 2		
子2-1	昨年までの自分の勉強の反省		
子2-2	勉強の仕方の悩み		
子2-3	分かりやすい授業への期待		
子2-4	勉強への親の指示	親3-7	子どもの勉強への指示
子3-1	授業の理解度	親4-1	子どもの授業の理解度の認識
子3-2	平日の学習時間	親4-2	子どもの平日の学習時間
子3-3	平日と土日の学習時間の比較	親4-3	子どもの平日と土日の学習時間の比較
子3-4-1	学校と塾・家庭教師との内容比較 (国語)		
子3-4-2	学校と塾・家庭教師との内容比較 (社会)		
子3-4-3	学校と塾・家庭教師との内容比較 (算数・数学)		
子3-4-4	学校と塾・家庭教師との内容比較 (理科)		
子3-4-5	学校と塾・家庭教師との内容比較 (英語) 中高		
子3-5	忘れ物への対策	親4-4	忘れ物への対策
子3-6	平日の読書時間	親4-5	子どもの平日の読書時間
子3-7	分からないことの事後処置	親3-10	子どもの分からないことへの援助
		親3-13	学校行事への参加
		親3-14	教育方針 (世間の流れ)
		親3-15	教育方針 (塾・家庭教師・通信教育)
		親3-16	子どもの教育についての家族の会話
		親2-1	子どもの学力・勉強についての方針
		親2-2	子どもの最終学歴についての方針

網掛けは、関連性のある質問項目を示す。

番号	学級担任
先1-1	少人数指導
先1-2	ティーム・ティーチング
先1-3	習熟度別指導
先1-4	コンピュータ活用授業
先1-5	学校図書館活用授業
先1-6	課題解決的学習
先1-7	読書を習慣化させる取り組み
先1-8	発展的課題を取り入れた授業
先1-9	補充指導
先1-10	宿題
先3	総合的な学習の時間の課題
先4	習熟度別指導の課題
先6-1	評価活動
先6-2	評価の客観性
先6-3	児童生徒の観察
先6-4	指導方法へのフィードバック
先6-5	児童生徒の学習状態の連絡
先6-6	学習意欲を高める評価
先6-7	評価と入試選抜方法
先7	家庭や地域社会に望むこと
先2	児童生徒たちの授業の理解度の認識
先5	児童生徒の平日の家庭学習時間の指導